

職員給与の減額措置について

1 給与減額の目的

静岡県は、第4次地震被害想定を公表し、被害想定の大い地域から優先的に防災対策に取り組むこととしました。市としても、国・県とともに、地震・津波対策に早急に取り組む必要があることから、市民の生命・財産を守るため、職員給与を減額し、防災対策事業費の財源の一部に充てることとしました。

減額内容は、本市ではすでに職員数の削減や市独自の給料の減額によって人件費の削減に努めてきており、職員給与はラスパイレス指数で県内21市中最も低く、平均給料月額でも低い水準にあることを踏まえ、減額率などを決めました。

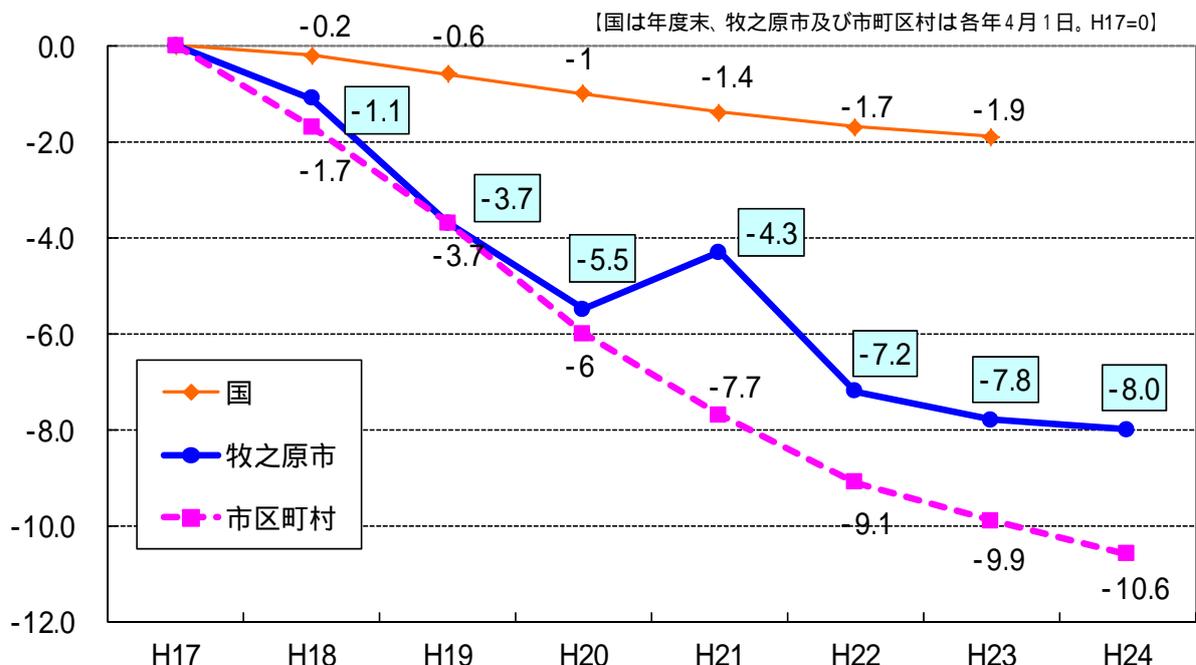
2 給与減額の実績

実施年度	減額内容
平成 19 年度	給料 1% (4月～3月)
平成 21 年度	給料 8% (12月～3月) 管理職手当 50% 期末勤勉手当 0.2月(6月) 10%(12月)

3 牧之原市の職員数の推移

平成 17 年度からの一般行政職(教育職、公営企業等(国保、介護、水道)を除いた職員)の職員数

職員の削減率(定員管理調)



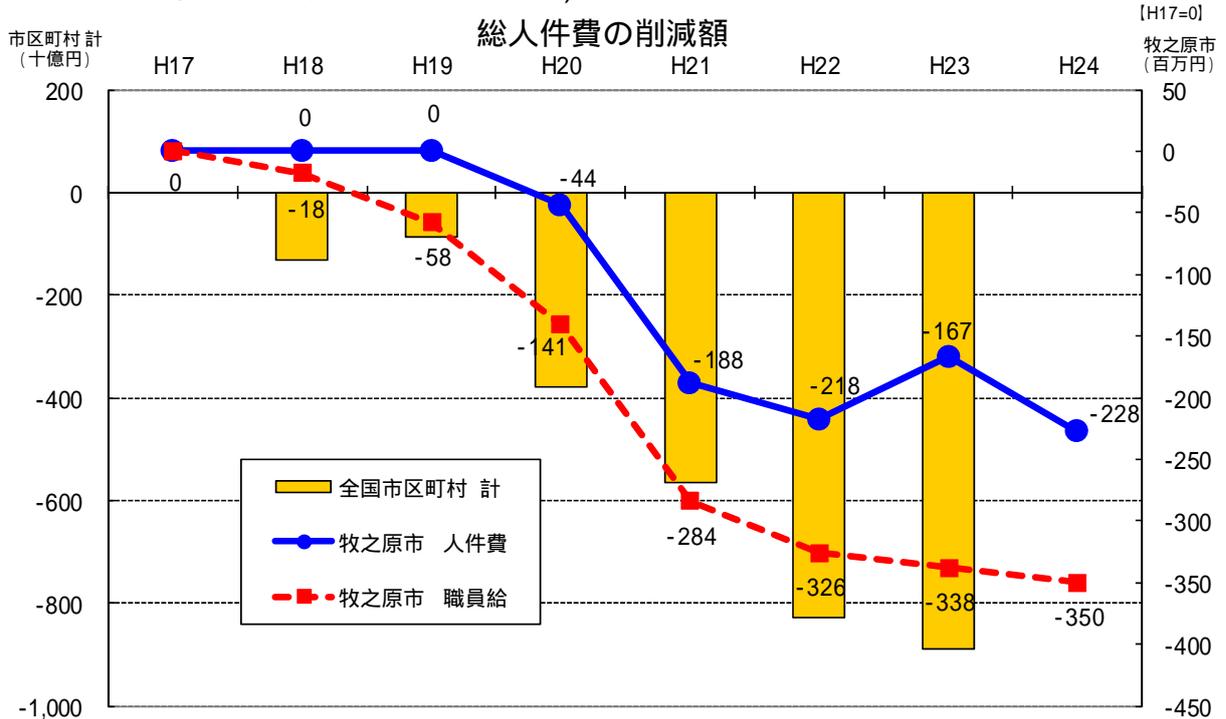
(単位: 人数)

牧之原市	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
一般行政	327	324	315	309	313	303	301	300	290
総数	432	426	413	401	395	379	376	374	411 (364)

H25 ()は消防を除く数

4 牧之原市の総人件費の推移

平成 17 年度からの決算統計における人件費と職員給(給料、手当等職員に直接支給するもの。共済費、退職手当を除く)



地方財政状況調査(決算統計)より

(単位:百万円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
総人件費	3,189	3,189	3,189	3,145	3,001	2,971	3,022	2,961
職員給	2,132	2,114	2,074	1,991	1,848	1,806	1,794	1,782

決算統計より

5 ラスパイレス指数の状況(平成 24 年度)

県内市の状況では、牧之原市が一番低い指数(103.2)であり、国家公務員の減額の措置がない場合には、95.4 と 100 を下回っている状況にある。



6 平均給料月額(平成24年度)

県内市の中では、下位から下田市、伊東市について3番目であり、牧之原市の平均給料月額は、317,100円であった。全国の市平均では、329,475円であり、牧之原市は、平均を下回っている状況にある。

平均給料月額(平成24年度)

